



事業計画及び成長可能性 に関する事項

株式会社アドバンスト・メディア

2021年12月28日



Advanced Media, Inc.

会社概要



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設立	1997年12月10日
資本金	69億3,031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所マザーズ市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F■ 大阪支社 大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル 2 F■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル 5 F
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：208名（平均年齢37.7歳） 連結：240名



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

“HCIの実現”

H=Human

C=Communication

I=Integration

アドバンスト・メディアは、
「キカイ」との自然なコミュニケーションを
実現し、豊かな未来を創造します。



1. ビジネスモデル



Advanced Media, Inc.

事業の内容

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（株式会社アドバンスト・メディア）と連結子会社2社、非連結子会社1社、持分法適用会社1社により構成されており、事業セグメントは、音声事業の単一セグメントであります。

音声事業

- ① **AmiVoice®** を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「**ソリューション事業**」
- ② **AmiVoice®** を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「**プロダクト事業**」
- ③ 企業内のユーザーや一般消費者へ **AmiVoice®** をサービス利用の形で提供する「**サービス事業**」

なお、音声事業の単一セグメントは、**既存コアビジネスをBSR1（第一の成長エンジン）**、新規ビジネスの創生、M&A、海外事業を**BSR2（第二の成長エンジン）**と定義し、8のプロフィットユニットで構成されております。

第一の成長エンジン（既存コアビジネス）

当社のCTI事業部、VoXT事業部、医療事業部、STF事業部の4つのプロフィットユニットで構成をしております。

第二の成長エンジン（新規ビジネスの創生、M&A、海外事業）

当社の海外事業部、ビジネス開発センター、および連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）、株式会社速記センターつくばの4つのプロフィットユニットで構成をしております。

注) 事業部名称の語源は次のとおりです。
CTI: Computer Telephony Integration
VoXT: Voice Texting
STF: Speech Transformation

製品・サービス内容

		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
BSR1	CTI事業部	AmiVoice Communication Suite、AmiVoice Communication Suite Cloud、Ami Agent	コンタクトセンター	通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析等で応対品質向上を支援
	VoXT事業部	AmiVoice ScribeAssist、ProVoXT	地方自治体、各種民間企業	会議や講演の音声を自動テキスト化し、自治体・民間企業のRPA化を促進する音声認識文字起こしサービスを提供
	医療事業部	AmiVoice Ex7、AmiVoice CLx、AmiVoice iNote、AmiVoice OAM、AmiVoice Com-Support	病院、診療所、放射線科、調剤薬局	電子カルテや読影レポート等、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場の働き方改革に貢献
	STF事業部	AmiVoice Cloud Platform、AmiVoice Keyboard、AmiVoice SBx	製造・物流・金融・製薬等、各種民間企業	工場の検査結果や営業報告書・対面記録等、幅広い業種に向けて音声認識を活用した業務効率化ソリューションを提供
BSR2	海外事業部	中国語版 AmiVoice Communication Suite	アジア圏の コンタクトセンター	台湾・香港・中国を中心にコールセンター向け音声認識IVRや、中国語版リアルタイム音声認識ソリューションを提供
	ビジネスイノベーションセンター	AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理を支援する音声認識ソリューションを提供
	連結子会社	AMIVOICE THAI	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ全土に提供
	速記センターつくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の書き起こし業務を提供

主要な製品・サービスの紹介①

AmiVoice® Communication Suite (CTI事業部)



コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション

豊富な機能でコールセンター業務を強力にサポートし、応対品質向上・顧客満足度向上・業務効率化・売上向上など、コンタクトセンターの課題を解決します。各業界に特化した高精度な音声認識エンジンをベースに企業それぞれのニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。



AmiVoice® ScribeAssist (VoXT事業部)



AI音声認識 文字起こし支援アプリケーション

Web会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションです。会議をしながら文字化・記録するリアルタイム認識と、録音データを文字化するバッチ認識、どちらにも対応しています。Zoomと連携して認識結果を字幕表示することも可能です。



AmiVoice® Ex7 (医療事業部)



話したら、即、入力。医療現場の記録をスピード作成

AmiVoice Ex7はマイクで話すだけで文章が作成できるソフトウェアです。医療の現場で必要とされる電子カルテへの入力、服薬指導や読影レポートの作成から診療情報提供書の準備まで、PCで行う様々な文章入力の負担を軽減します。



主要な製品・サービスの紹介②

AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム (ビジネス開発センター)



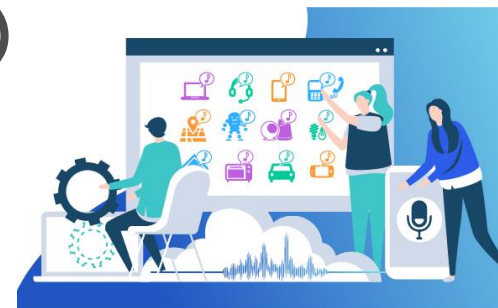
建築検査用の音声入力アプリ。AIが業者を自動振分け！

建築仕上げ検査、配筋検査、安全パトロール、内覧会用などの音声入力アプリ。
指摘事項を発話して検査結果入力完了。AIが協力会社を自動振り分けし仕分け作業不要です。
すでに100社以上でご利用いただいています。

AmiVoice® Cloud Platform (STF事業部)

音声認識APIを提供する開発プラットフォーム

AmiVoice 音声認識API の活用により、クライアントアプリケーションに特別なライブラリを組み込む事なく、音声認識機能を実装できます。音声文字化や音声対話、音声制御、音声翻訳等、アプリケーション、Webサイト等の各種サービスにご使用いただけます。



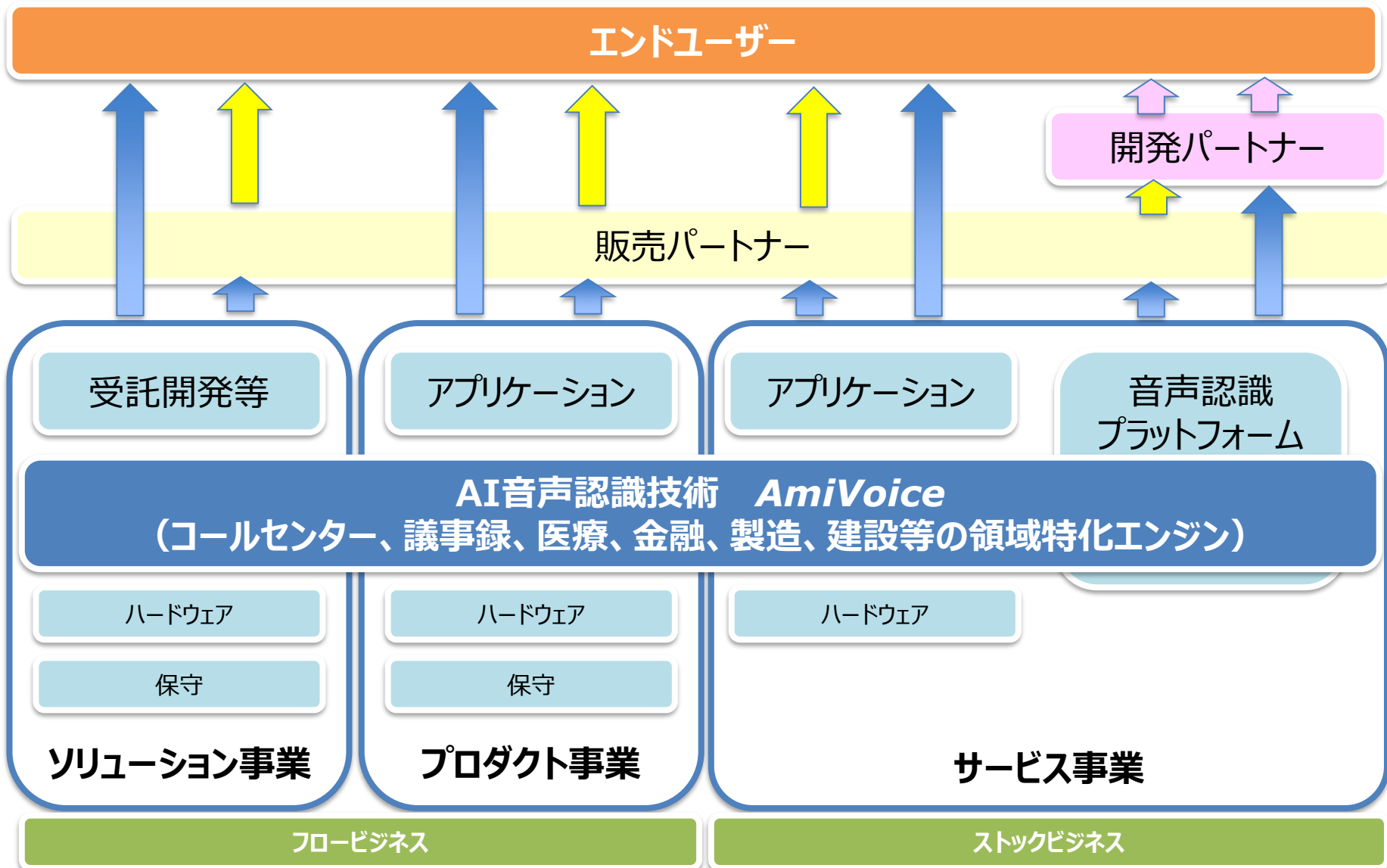
AmiVoice® Front WT01 (Bluetoothマイク)



AmiVoice® Front ST01 (スタンドマイク)



ビジネスモデル

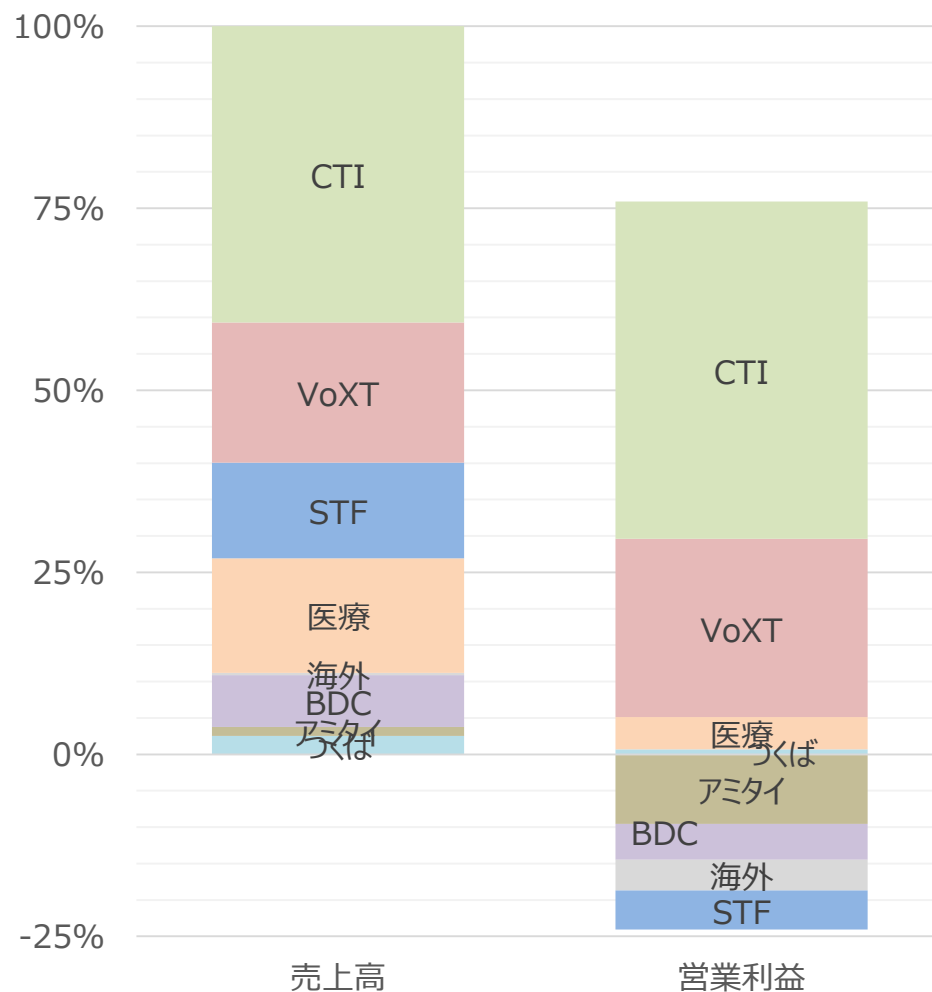


分野別の実績（2022年3月期第2四半期）

単位：百万円

		売上高	営業利益
B S R 1	CTI事業部	788	208
	VoXT事業部	372	110
	医療事業部	304	20
	STF事業部	255	-24
合計		1,720	314
B S R 2	海外事業部	6	-19
	ビジネス開発センター	138	-22
	AMIVOICE THAI	24	-43
	速記センターつくば	49	3
	合計	218	-81
連結調整		-17	-1
合計		1,923	232

構成比

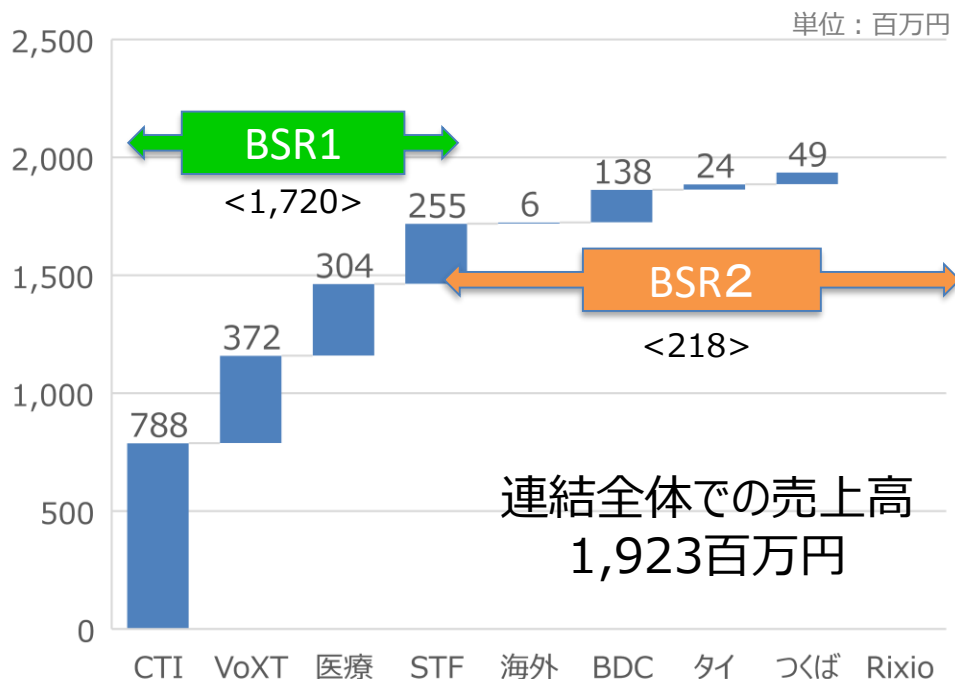


2022年3月期第2四半期売上高の分析

注) 連結調整前

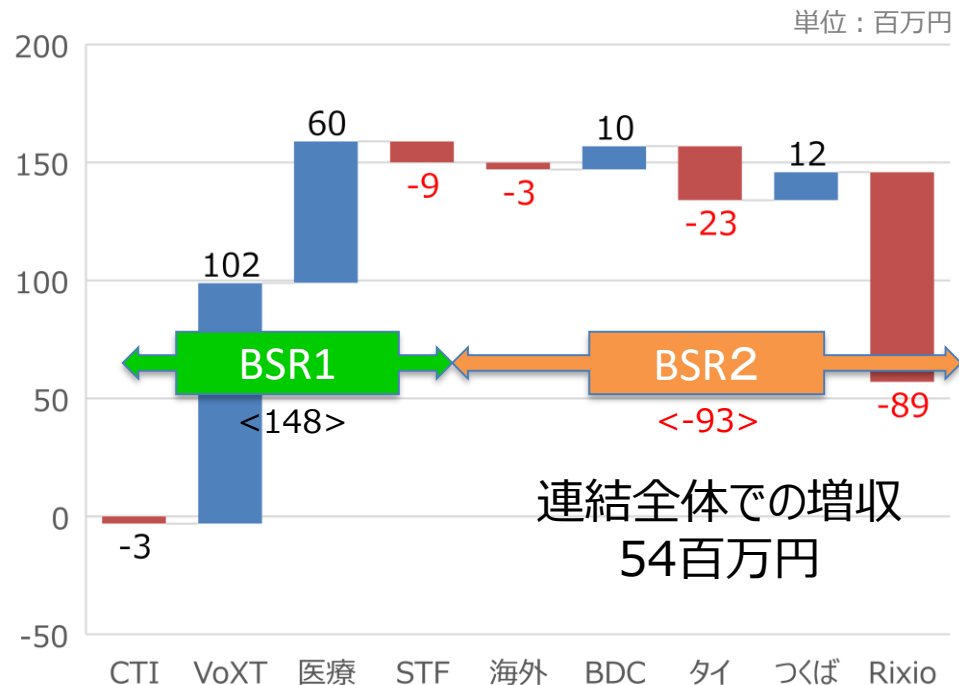
分野別の売上高

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



分野別の売上高の対前期比

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

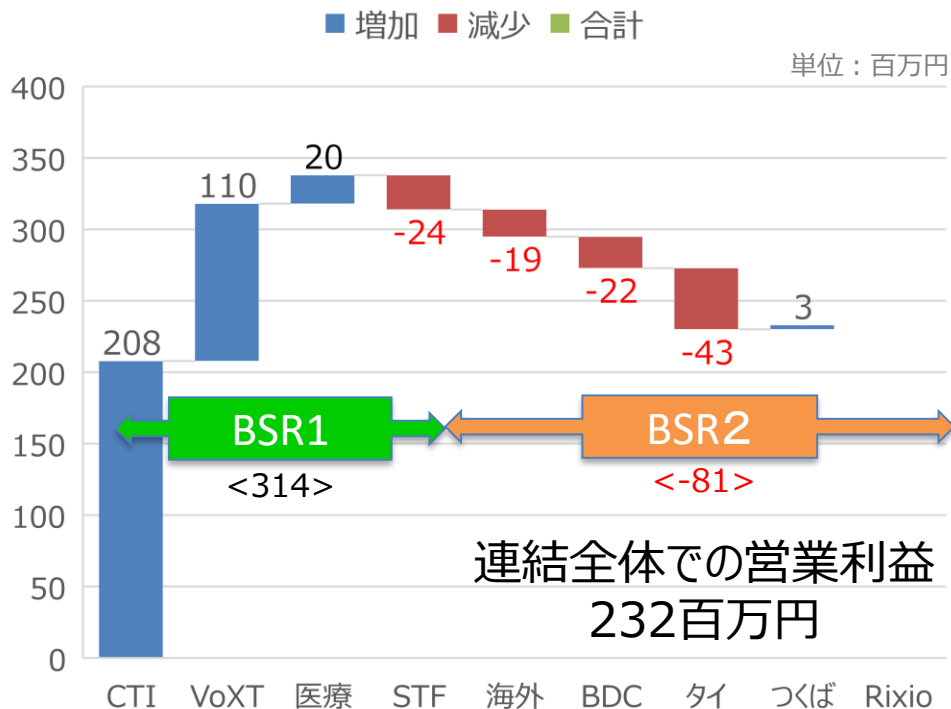


VoXT・医療が増収しBSR 1は9.5%の増収を実現
一方で、連結子会社のタイの減収およびRixioが連結対象から外れた影響から
連結グループ全体では2.9%増収

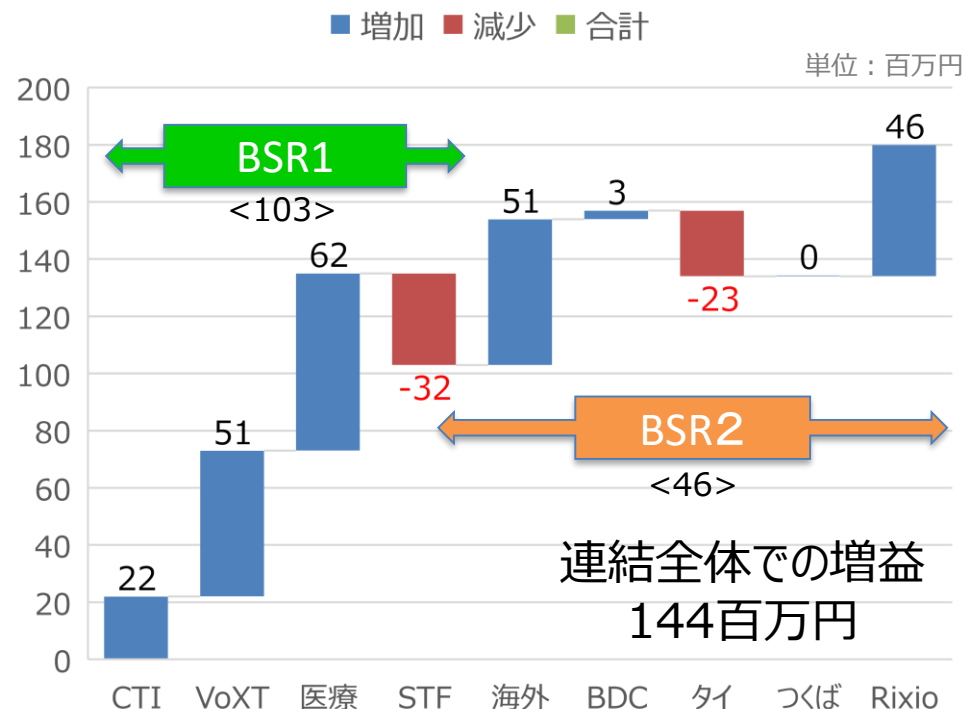
2022年3月期第2四半期営業利益の分析

注) 連結調整前

分野別の営業利益



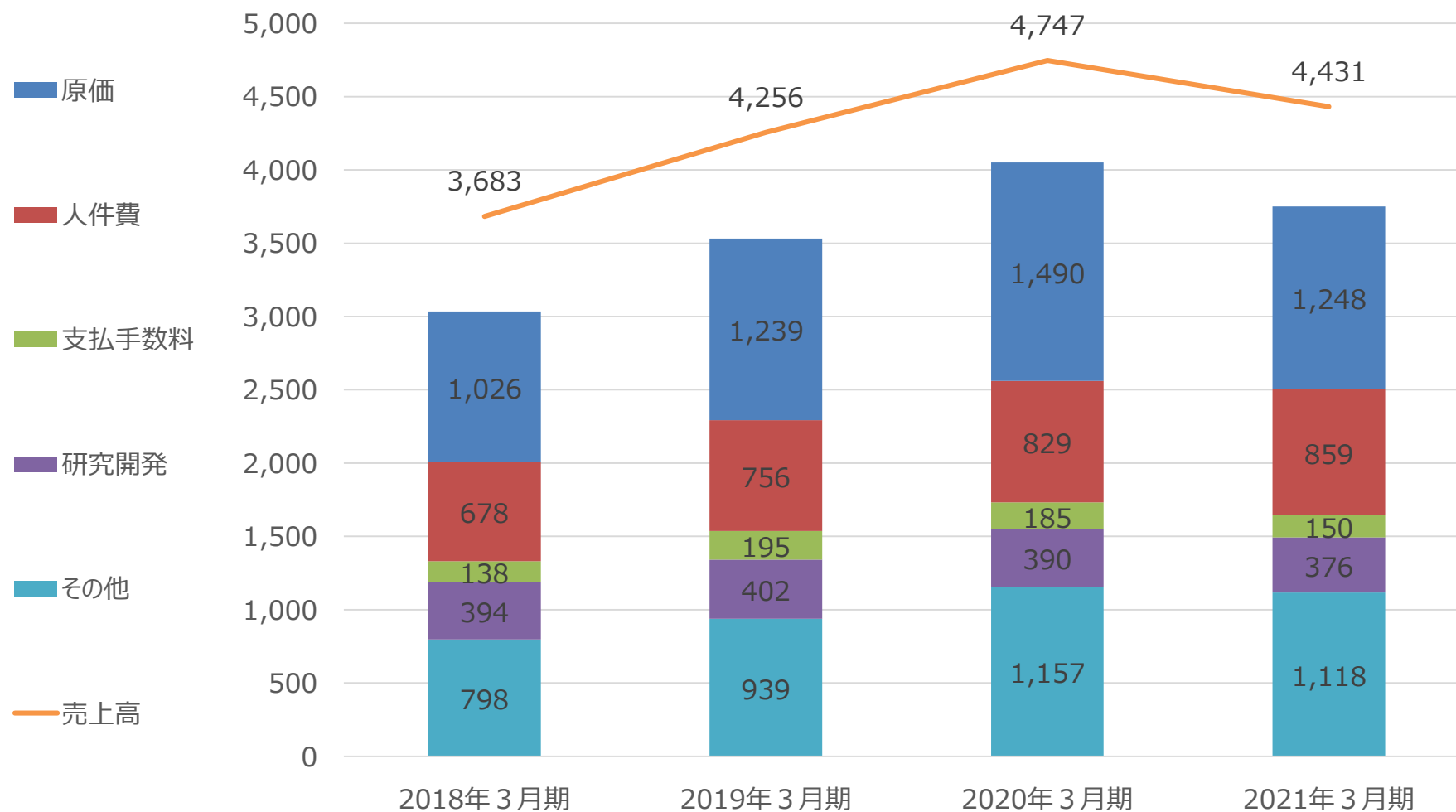
分野別の営業利益の対前期比



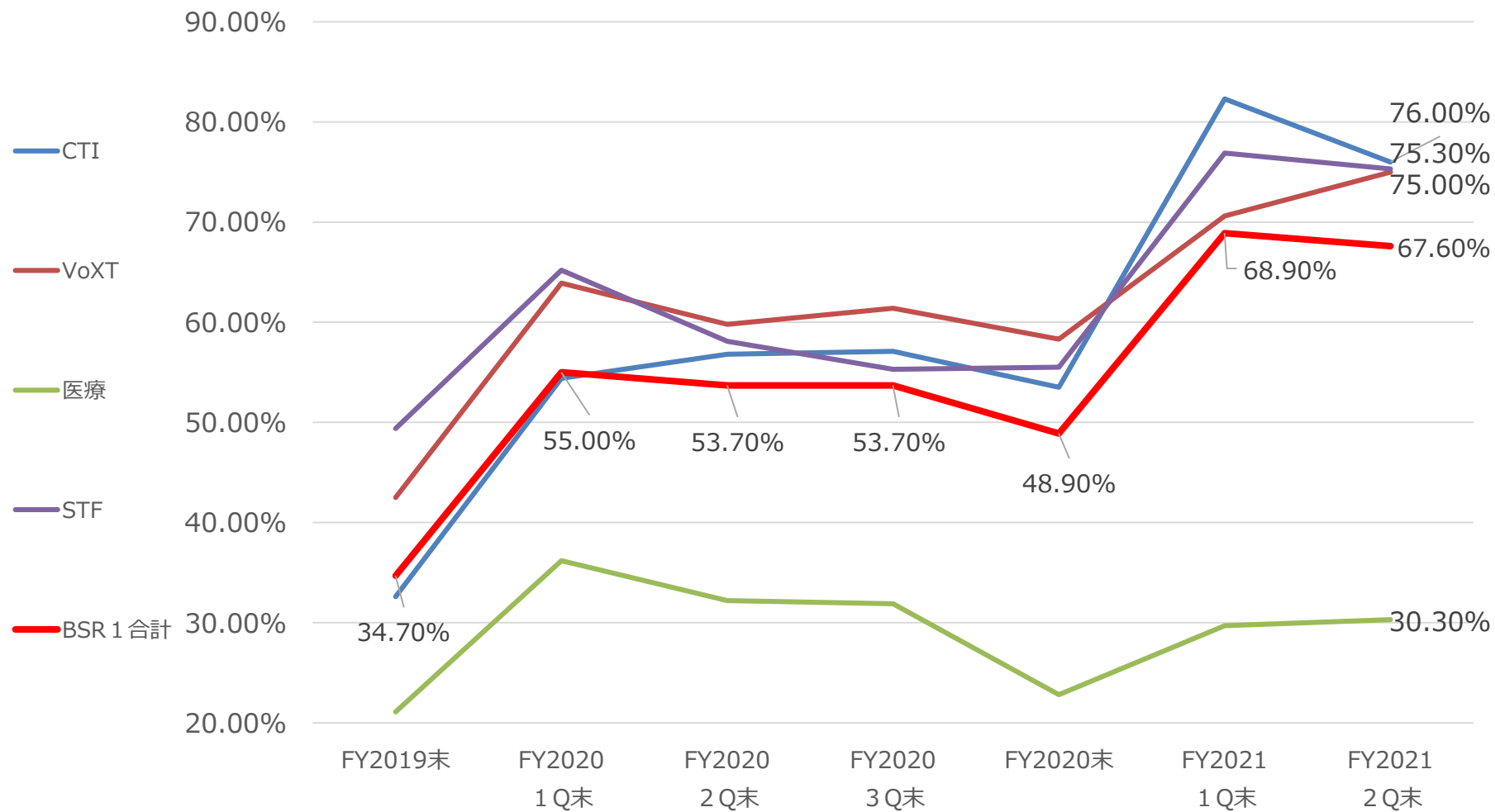
BSR 1 は、ストック比率が高まることで、粗利益率が向上し大幅な増益
BSR 2 は、各分野において赤字幅を大幅に縮小
連結グループ全体では約2.6倍増益

コスト構造

単位：百万円



ストック比率の推移 (BSR 1)





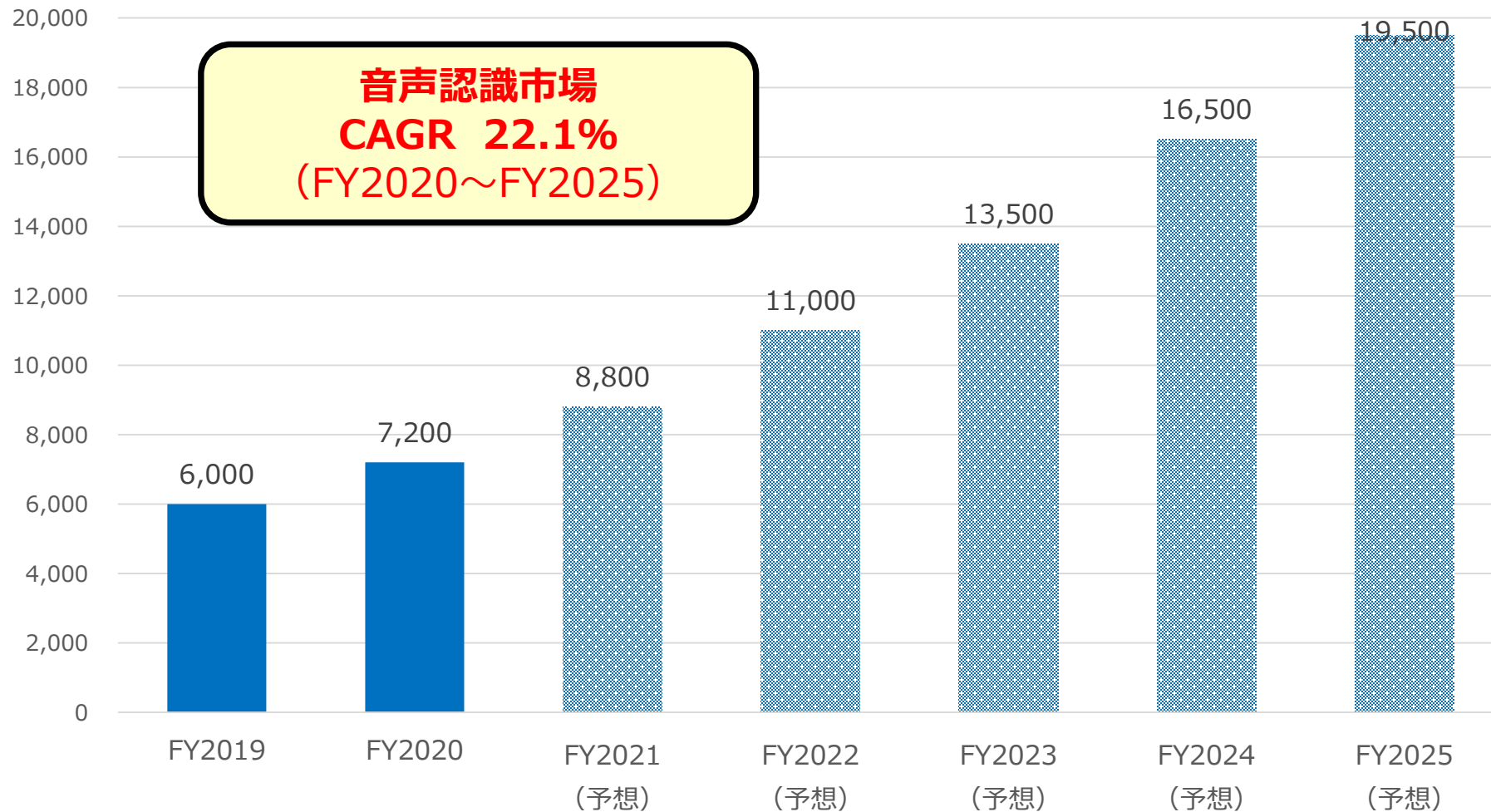
2.市場環境



Advanced Media, Inc.

音声認識市場規模（予想）

(単位：百万円)



出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」

分野別の概況

コンタクトセンター（CTI事業部）

(参考) 当社CAGR 14.4%
(FY2018～FY2020)

- 人手不足、生産性向上、コンプライアンス、などから需要は引き続き旺盛と考えている
- 在宅コンタクトセンターという新たな需要有
- 導入率が低い中小規模での導入余地有

議事録（VoXT事業部）

(参考) 当社CAGR 19.1%
(FY2018～FY2020)

- 生産性向上から会議の文字化需要は引き続き旺盛と考えている
- リモートワークの推進により、WEB会議の文字化という新たな需要有

医療業界（医療事業部）

(参考) 当社CAGR 2.8%
(FY2018～FY2020)

- コロナを契機に病院でのIT化の見直しや、2024年度に医師の残業時間の上限規制があり、需要が伸びるものと考えている
- オンライン診療など新たな需要有

建設業界（ビジネス開発センター）

(参考) 当社CAGR 45.8%
(FY2018～FY2020)

- 人手不足、生産性向上などの背景から、建設業の各社でDXを推進おり、需要は引き続き旺盛と考えている

CAGR：当社実績

音声認識市場 7年連続シェアNo.1



※ 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場ベンダー別売上金額シェア（2015～2021年度予測）

音声認識市場開拓のこれまで

※2021年9月現在

自治体・民間 累計860施設

- 議会・一般会議議事録作成
- 講義、講演、インタビュー録作成
- クラウド文字起こしサービス
- オンライン会議録作成

15,145施設(44,186ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート作成
- 電子カルテ向け音声入力
・病院 ・診療所 ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- 医療・介護従事者向け音声入力

377社(28,543ライセンス)

- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理

5,551ライセンス

- ハンズフリー・アイズフリー音声操作
- ボイスピッキング
- 音声データ入力・記録
- 作業報告、点検向け音声入力



398社(51,788ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
・オペレーター能力の向上
・リアルタイムモニタリング
・通話録音の検索と見える化
- 音声AIアシストサービス

45社

- コンシューマー向けクラウドサービス
- コンシューマー向けスタンドアローンアプリ
- 音声AIアシストサービス

1,354ユーザー

- AmiVoice Cloud Platform
- 音声認識開発キット (SDK)

655社

- 次世代セールスソリューション
・営業能力の向上
・接客・対面の見える化
- 営業日報向け音声入力



3.競争力の源泉



Advanced Media, Inc.

競争優位性①

AI音声認識技術 AmiVoice



ディープ ラーニング技術

最新のディープラーニング技術を実装。高い認識率を誇ります。



幅広い業種と 専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。



自然な話し言葉の 認識を実現

発話スピードやイントネーション・アクセントへのフレキシブルな対応が可能です。



耐雑音性

強力なノイズ除去技術で、利用場所を選びません。

競争優位性②

AI音声認識技術 AmiVoice

AI音声認識マーケットをリードしていく**市場創造力**

各業界に精通している**パートナーとの強固な連携**

AI音声認識技術に関する知見・経験が豊富な**販売力**

AI音声認識技術に特化したアプリケーション**開発力**

AIなどを用いて価値を増幅させる**応用技術開発力**

AI音声認識技術をアップデートし続ける**基礎技術開発力**

これらの競争優位性が幅広い分野での高いシェア率に繋がっている



※1 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2021年度予測）

音声認識市場 ※2

会議議事録向け 当社シェアNo1

57.9%

参考
シェア2位 3.4%

音声認識市場 ※2

医療文書向け 当社シェアNo1

72.2%

参考
シェア2位 2.3%

※2 出典：ITR「ITR Market View：AI市場2021」音声認識市場：ベンダー別売上金額シェア（2021年度予測）



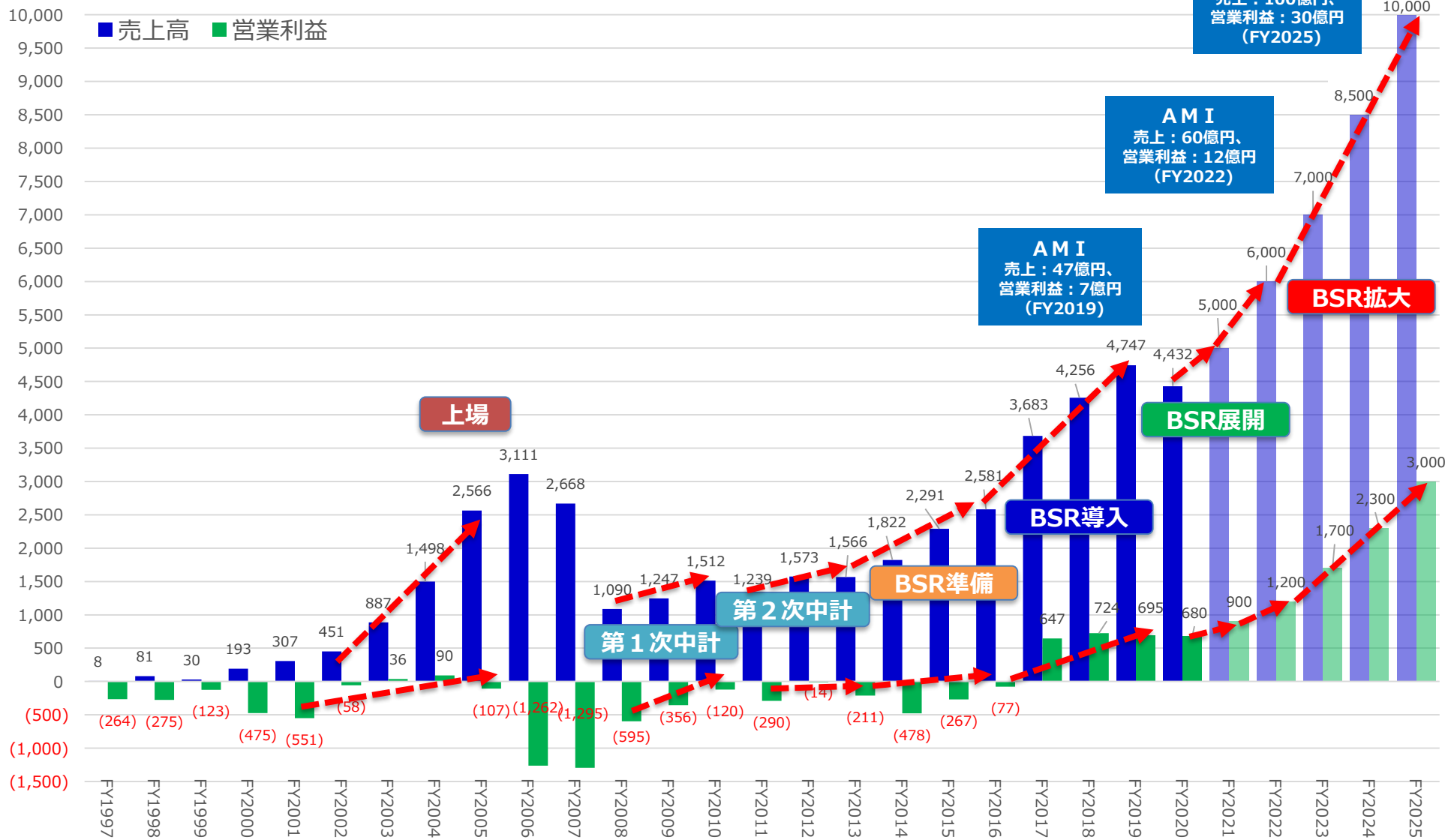
4.事業計画



Advanced Media, Inc.

AMIグループの業績推移とこれから

(単位：百万円)



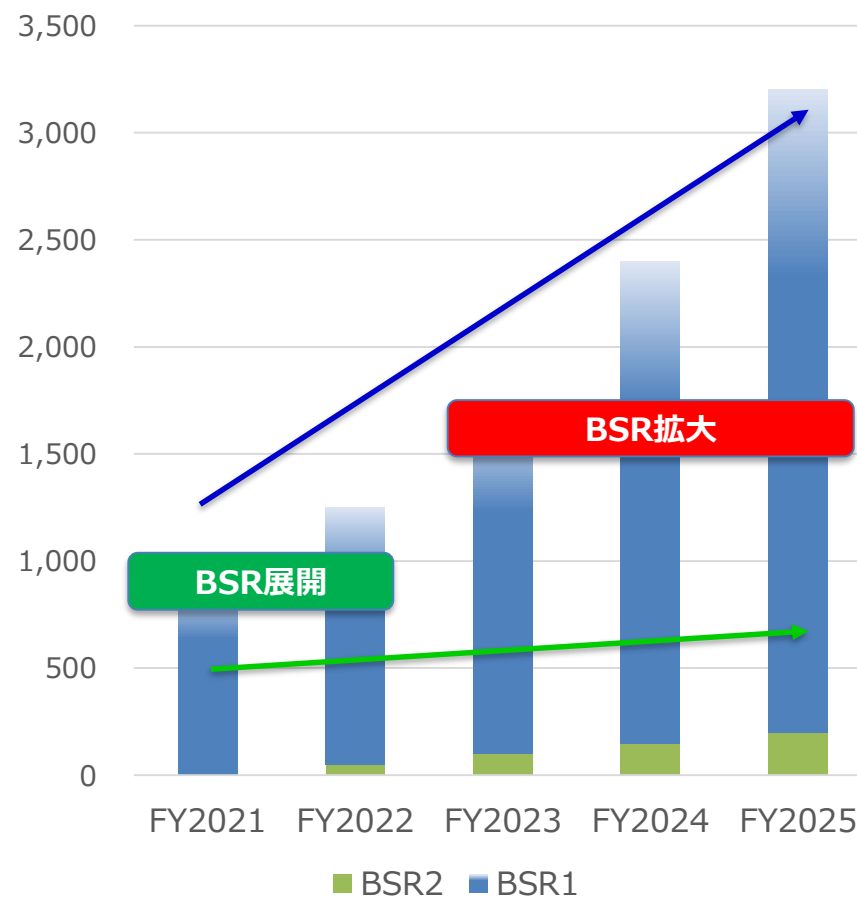
BSR 1・BSR2の計画

(単位：百万円)

売上高



営業利益



計画達成に向けた主要施策

■ BSR1 : FY2025 売上81億円、利益27億円 (FY2022 売上51億円、利益12億円)

注1) 参考資料「部門別売上計画」参照

注2) 参考資料「これからの音声認識製品について」参照

- 各部門が、設定された、FY2021→FY2022→FY2025の売上増分を以下で達成^{注1)}
 - ・新規アプリ/サービスの新規顧客獲得（市場導入）
 - ・既存アプリ/サービスの新規顧客獲得（市場展開）
 - ・市場導入から市場展開へ（市場展開）・市場展開から市場拡大へ（市場拡大）
- SPX^{注2)} やAISH^{注2)} などの次世代のアプリ/サービスの開発・販売とストック比率の向上がカギ

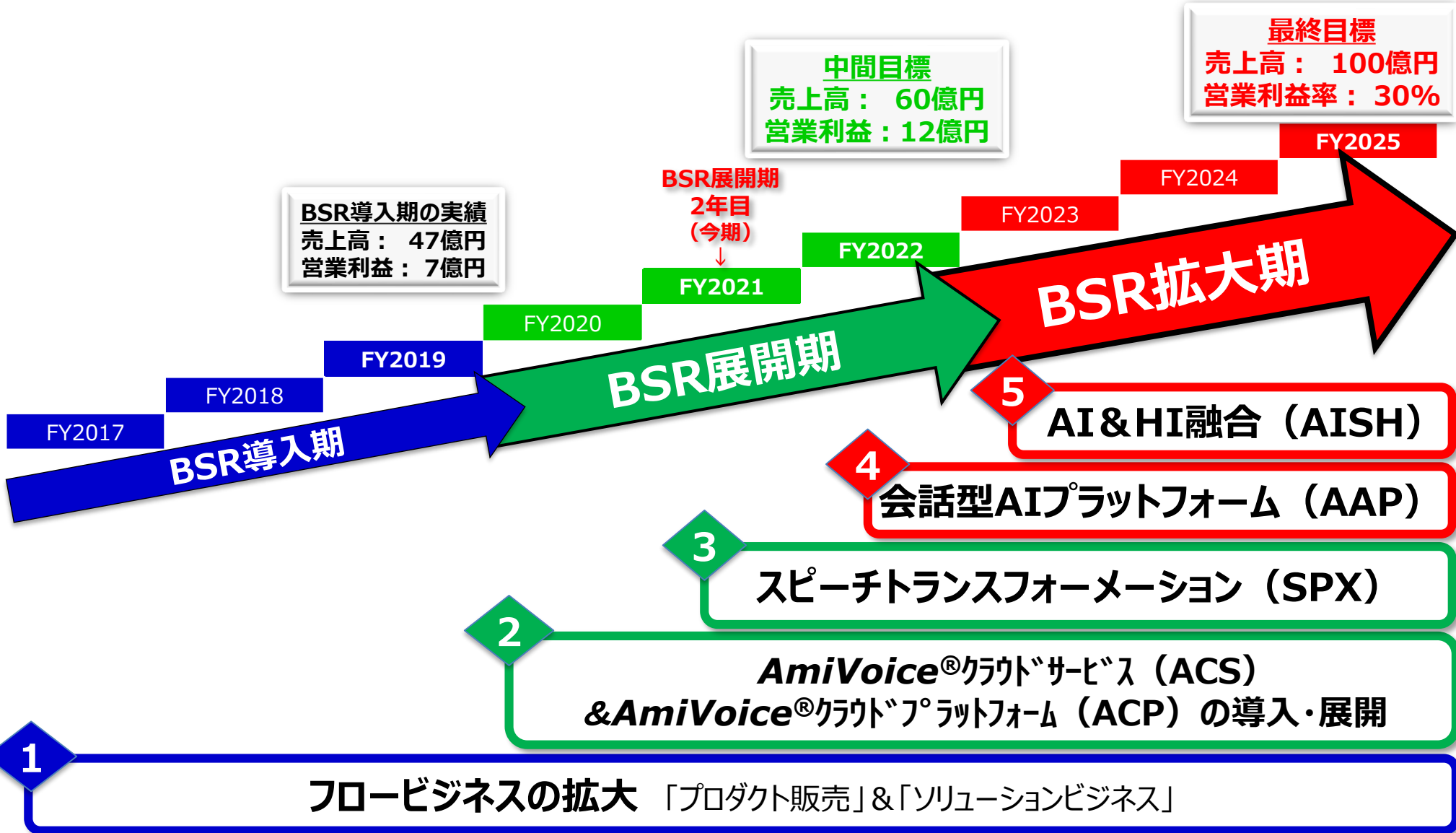
FY2021 60% → FY2022 65% → FY2025 75%

■ BSR2 : FY2025 売上19億円、利益3億円 (FY2022 売上 9億円、黒字化)

- 各部門が、設定された、FY2021→FY2022→FY2025の売上増分を以下で達成^{注1)}
 - ・新規アプリ/サービスの新規顧客獲得（市場導入）
 - ・既存アプリ/サービスの新規顧客獲得（市場展開）
 - ・市場導入から市場展開へ（市場展開）・市場展開から市場拡大へ（市場拡大）

■ 共通 : API、ACP^{注2)} とAAP^{注2)} をベースとした 開発パートナーと販売パートナーの獲得による顧客数の増大

BSR3x3・中期計画（展開から拡大へ）



音声認識を必要とする時代の到来

～非対面・非接触でのビジネス拡大～

(1) スピーチトランスフォーメーション (SPX)

- ・新たなビジネス様式への対応
- ・ACP/ACSの展開
- ・格段の効率化ツール (スピーチRPA) の提供

(2) 新たなデジタルマーケティングの促進

- ・動画コンテンツを活用した新たなWebサービスによる先進的メディア (AMI^{注1)})

注1) 参考資料「これからの音声認識製品について」参照

注2) SX: サステナビリティ・トランスフォーメーション

(3) AISH (AIによるスーパーマン化) の時代

- ・AIとのコラボレーション
- ・会話型AIプラットフォーム (AAP) → 会話型AIサービス (AAS)

社会のサステナビリティ (SX^{注2)}) の実現



5. リスク情報



Advanced Media, Inc.

リスク情報

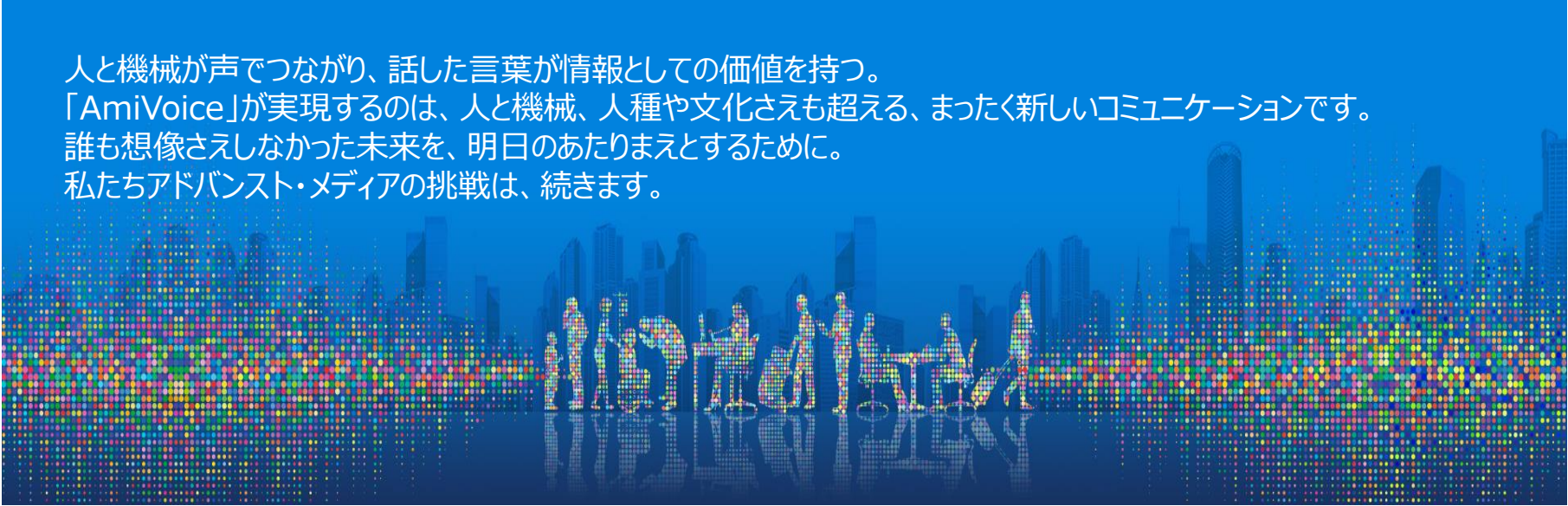

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは以下の通りです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	発生可能性 ／時期	概要（抜粋）	対応策
業績の変動について	中／常時	音声認識市場の展開・拡大の遅延、外部環境の変化等、当社が想定できない諸般の要因で、当社の事業が計画どおりに進捗しなかった場合には、想定している経営成績に影響する可能性があります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
音声認識市場創造が遅延すること	中／中長期	音声認識市場における事業創造および事業展開を行ってまいります。市場創造が予想どおりに行えず、長い時間を要する可能性もあります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
新製品及び新技術の開発	中／中長期	現在、音声認識の基礎的な開発は終了し、既に様々な商品を販売しておりますが、今後とも技術の革新と向上が必須です。当該開発に資金や時間が想定以上に必要となった場合、当社グループが想定する売上計画が達成できなくなり、先行的に支出された研究開発費等の回収が困難になった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期計画に対して、適切な研究開発費を設定するとともに、研究開発費の内訳について選択と集中をすることで適切にコントロールしてまいります。
音声認識技術に代替する新技術の誕生	低／不明	音声認識技術に代わる新しいインターフェース等の誕生、普及により、当社の技術優位性がなくなる等、当社が明確な競争優位性を確保できなくなった場合には、当社グループの経営に影響を与える可能性があります。	音声認識技術に関連する技術動向を、基礎技術部門でフォローし続けるとともに、当社も様々な新技術に対する研究を進めてまいります。

リスク情報

項目	発生可能性 ／時期	内容（抜粋）	対応策
競合他社について	中／不明	現時点では当社の製品は、国内外の競合他社の製品と差別化されると考えておりますが、将来的に高い技術力および開発力を有する競合企業が出現することは否定できず、競争の激化によって当社の優位性が失われた場合、また、競合他社が他の有望な音声認識市場を創造開拓し、当社グループが後塵を拝した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	音声認識技術に必要な音声や言語のデータの収集をし続けるとともに、技術革新をし続け、競争力の維持をし続けてまいります。 と同時に、他社の技術レベルを常に把握し、部分的に劣っている箇所のキャッチアップを常にしてまいります。
3 M Health Information Systems, Inc.（3 M Health社）について	低／不明	当社の音声認識技術のプログラムの一部は、3 M Health社が開発した技術を使用しております。同社とは、当社自らが自由に当該プログラムの改訂・改良・機能強化のための開発ができる契約を締結しております。しかしながら今後、何らかの理由により3 M Health社との協力関係に支障をきたした場合、現在受けている同社からの技術的な支援を得られなくなる可能性はあり、その場合当社の事業運営に影響を及ぼす可能性があります。	現状でも、当社自らが自由に当該プログラムの改訂・改良・機能強化のための開発ができるものと考えておりますが、その体制をより強固にするべく、音声認識に関する様々な技術に対する当社独自の研究をすすめてまいります。

注) 「5. リスク情報」については、当社株式の投資に関する全てのリスクを網羅してものではありません。



人と機械が声でつながり、話した言葉が情報としての価値を持つ。
「AmiVoice」が実現するのは、人と機械、人種や文化さえも超える、まったく新しいコミュニケーションです。
誰も想像さえしなかった未来を、明日のあたりまえとするために。
私たちアドバンスト・メディアの挑戦は、続きます。

- 次回の本資料の開示は、2022年6月を予定しております。
- 本開示には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。



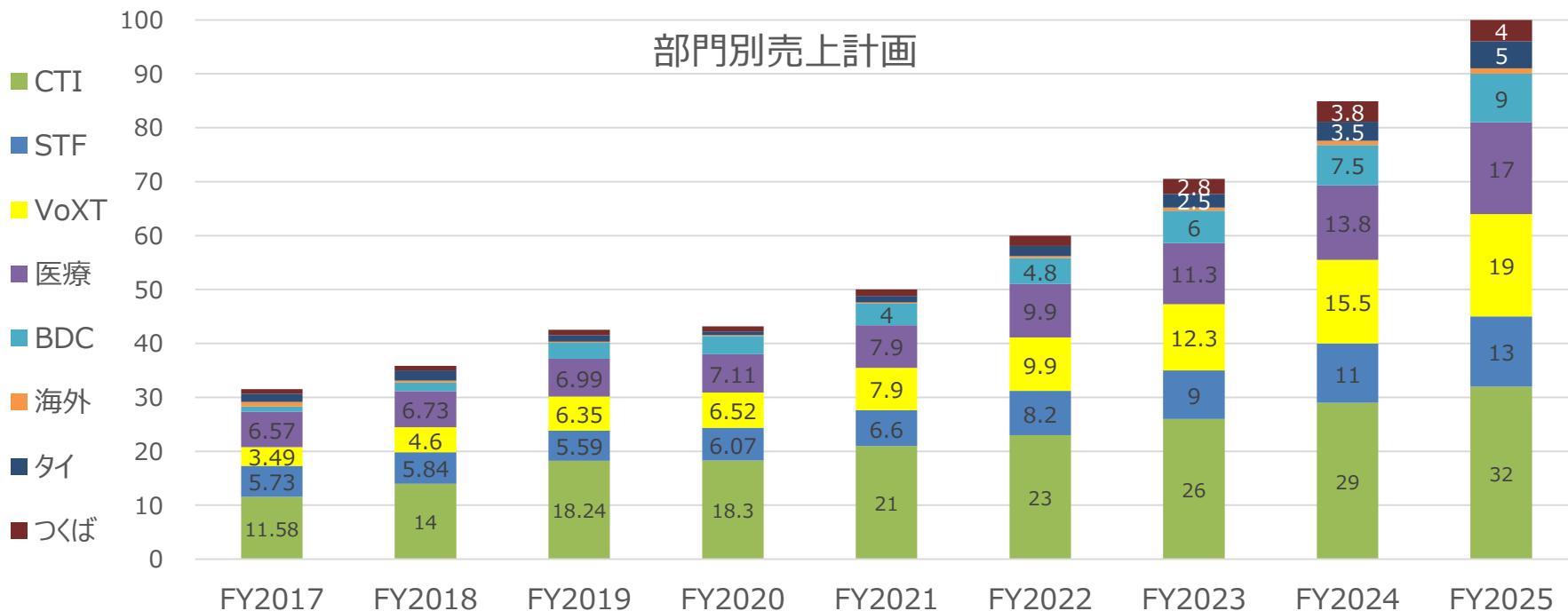
参考資料



Advanced Media, Inc.

部門別売上計画

(単位：億円)



	BSR1					BSR2					全体計
	CTI	STF	VoXT	医療	小計	BDC	海外	タイ	つくば	小計	
FY2017	11.58	5.73	3.49	6.57	27.37	0.96	0.81	1.56	0.82	9.68	37.05
FY2018	14.00	5.84	4.60	6.73	31.17	1.58	0.33	1.92	0.87	11.63	42.79
FY2019	18.24	5.59	6.35	6.99	37.16	2.96	0.19	1.22	0.99	10.94	48.10
FY2020	18.30	6.07	6.52	7.11	38.00	3.37	0.17	0.67	0.96	6.77	44.77
FY2021	21.00	6.60	7.90	7.90	43.40	4.00	0.20	1.20	1.20	6.60	50.00
FY2022	23.00	8.20	9.90	9.90	51.00	4.80	0.40	1.90	1.90	9.00	60.00
FY2023	26.00	9.00	12.30	11.30	58.60	6.00	0.60	2.50	2.80	11.90	70.50
FY2024	29.00	11.00	15.50	13.80	69.30	7.50	0.80	3.50	3.80	15.60	84.90
FY2025	32.00	13.00	19.00	17.00	81.00	9.00	1.00	5.00	4.00	19.00	100.00

実績値

目標値

これからの音声認識製品について

- SPX（スピーチプロセスオートメーション）：音声認識を主要素とするデジタルトランスフォーメーション
 - SPX-MED：病院・クリニック向け音声AIツール
 - SPX-BIZ：ビジネス向け音声AIツール
- AISH（アイッシュ：AI Super Humanization）：AIによって能力を高めた人と優れた人の叡智との融合により人とAIとが高度なレベルで共助すること
 - 検査AISHサービス（BDC）：検査AIにより検査能力をアップさせた人材を派遣するサービス
 - 文字起こしAISHサービス（つくば速記センター）：文字起こしAIにより文字起こし能力をアップさせた人材を派遣するサービス
- ACP（AmiVoice Cloud Platform）：AI音声認識・AmiVoiceクラウドプラットフォーム
- ACS（AmiVoice Cloud Service）：AI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
 - ACS4T（AmiVoice Cloud Service for Telephony）：電話向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
 - ACS4M（AmiVoice Cloud Service for Medical）：医療向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
- AAP（AmiVoice AI Platform）：会話型AmiVoice AIプラットフォーム
 - AAP4T（AmiVoice AI Platform for Telephony）：電話用会話型AmiVoice AIプラットフォーム
- AAS（AmiVoice AI Service）：会話型AmiVoice AIサービス
 - AAS4T（AmiVoice AI Service for Telephony）：電話向け会話型AmiVoice AIサービス
 - AAS4M（AmiVoice AI Service for Medical）：医療向けAI音声認識・AmiVoiceクラウドサービス
- UPV/UPP（User Preference Viewer /Player）：企業のWebサイトに来訪者選好の動画再生やWebページ表示の機能を付加し、デジタルマーケティングの効能を高められるアプリ/サービス
- AMI（Advanced Media Integration）：先進的なメディアの融合。例えば、企業のWebサイトをUPV/UPPによりオウンドメディア化すること。